

大杉谷（日本三大溪谷）から日出ヶ岳（1695m・百名山）へ

2016年11月6日(日)～7日(月)

メンバー：磯部S(L)、磯部N(記)

**1日目： 浜松＝名古屋＝勢和多気＝三瀬谷＝宮川第3発電所（12:00）－千尋滝－獅子
が淵－桃の木山の家（16:00）（泊）**

ようやく秋めいた気候になって、紅葉もそろそろ良い頃かなー？、有名な、ヒルの生息地だけど（ヒルが降ってくるとか、ベルトをはずしたらベルトの形に並んでた、など逸話が多い）もういなくなったかなー？などと考えて、三重県の大杉谷から入り、大台ヶ原の最高峰日出ヶ岳を目指す（もちろんヒルは皆無）。

帰りは奈良県へ下りるので公共交通機関を往復利用の計画だ。

車を利用すると、登山口に戻るには桃の木山の家から引き返すことになる。当初どちらにするか迷ったが今回行ってみて、“抜けるしかない”と断言できる。



J R 紀勢線・三瀬谷で下車。ここから登山バスに1時間半乗って登山口へ

バスは基本、予約が必要だが、この日は飛び入りの人もいて満員だった。

途中で、三重県警から登山の際の注意事項の説明もあった。年間、死亡事故が数件はあると聞いて

いるので万全を期しているようだ。

登山道はずっと沢沿いで、岩場の連続だが、危険箇所にはこれでもか、の太ーいクサリがついている。



クサリを持って安全確保

道標も数多くあり、整備がよくなされている。

吊り橋も多いが、30年前の橋の崩落事故以降、かなり頑丈な橋に掛け変わっていて、やりすぎだ！の声もあるらしい。



シシ淵と奥に見えるニコニコ滝

水量が豊富で迫力もあり、水の深い色が印象的な美しい滝が登山道すぐ脇に続く、たのしい道だ。



桃の木山の家。お風呂もあるよー！

登山口から、ゆっくり4時間弱で桃の木山の家についた。月曜日なので、宿泊客は30名ほど。前日は130名程だったとか。ゆったりと寝て、疲れもとれた。

2日目： 桃の木山の家（6:50）－七ツ釜滝－堂倉滝－日出ヶ岳－大台ヶ原（14:00-15:30）＝大和上市＝名古屋＝浜松

宿が谷間にあるので、朝は足元がはっきりせず、明るくなるのを待つてゆっくり出発。沢沿いの登山道が堂倉の滝まで続いた後、尾根に取り付く急登の道へと変わる。



名瀑：七ツ釜の滝（日本の滝百選）



黒部下ノ廊下を思わせる、切り立った壁に張りつく山道



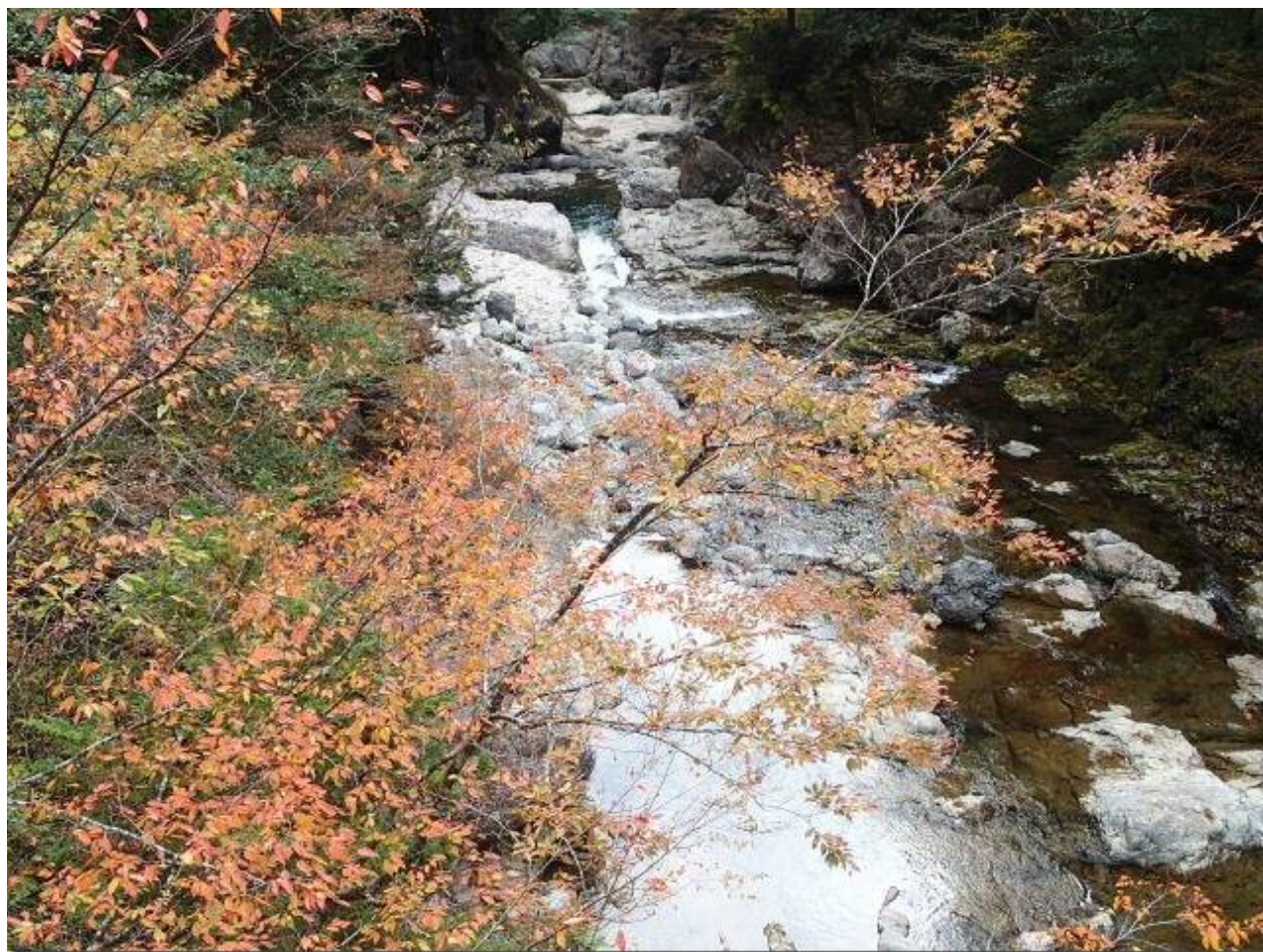
事故の9割は下りらしい。確かに濡れていたら気を使う



集中豪雨の爪痕（巨岩帯）が残るがその中に登山道が付けてある・感謝！！



透明度が抜群・・・清流・宮川



紅葉その1・・・残念ながら例年よりイマイチらしい



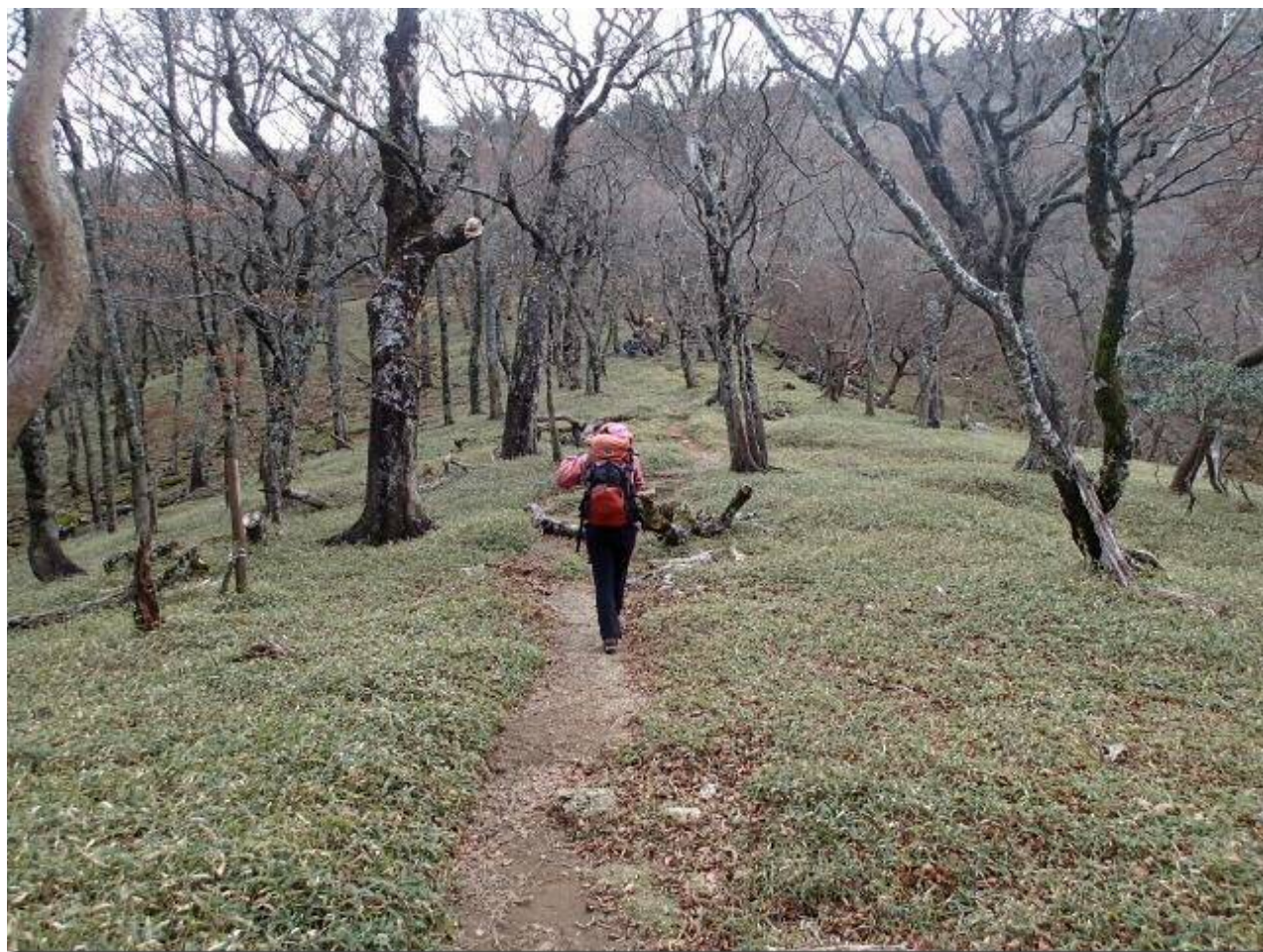
黄葉その2



紅葉とヒメシャラ



紅葉の中の吊り橋



頂上付近は笹原の道



百名山、大台ヶ原最高峰の 日出ヶ岳の頂上・なんか味気ない

稜線へ取り付く頃から、雲が増えてきて、残念ながら頂上からは展望が無かった。
こんな天候でも大台ヶ原（奈良県）からはハイカーが次々と登ってくる。駐車場から標高差わずか、距離2km足らずなので、お手軽なコースだ。

大台ヶ原からのバスは補助席も使えないほどぎゅうぎゅうの満杯状態で出発。小雨も降り出し、紅葉も見えず、2時間弱で大和上市へ。
近鉄とJRを走って乗り継いだりして、その日のうちに（新幹線を使わず）浜松へ帰った。

以上